

# 「東京裁判三部作」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、  
また、観劇後の感動をさらに深めるために、  
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介し  
ます。  
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

## 過去の公演プログラム

上演台本、単行本も揃えております。お問合せください。

### <「東京裁判三部作」初演プログラム>

2000/2001 SEASON **夢の裂け目** (2001.5)

2002/2003 SEASON **夢の泪** (2003.10)

2005/2006 SEASON **夢の痲** (2006.6)

### <その他の井上ひさし作品>

開場記念公演 **紙屋町さくらホテル** (1997.10)

2000/2001 SEASON **紙屋町さくらホテル(再演)** (2001.4)

2004/2005 SEASON **箱根強羅ホテル** (2005.5)

## 参考図書

### <作家の他の戯曲>

集英社 **ロマンス** 2008年発行／**円生と志ん生** 2005年発行

新潮社 **兄おとうと** 2003年発行／**太鼓たたいて笛ふいて** 2002年発行／

**父と暮せば** 1998年発行／**黙阿弥オペラ** 1995年発行

**最新戯曲集 紙屋町さくらホテル** 小学館 2001年発行

表題作のほか、『貧乏物語』『連鎖街のひとびと』を収録。

**井上ひさし全芝居<全5巻>** 新潮社 1994年発行

処女作から「マンザナ、わが町」までの全41編を完全収録。

<その一>「うかうか三十、ちよろちよろ四十」「さらば夏の光よ」「日本人のへそ」「表裏源内蛙合戦」「十一ぴきのネコ」「道元の冒険」「金壺親父恋達引」「珍訳聖書」「藪原検校」<その二>「天保十二年のシェイクスピア」「それからのブンとファン」「たいこどんどん」「四谷諧談」「雨」「浅草キヨシ伝」「花子さん」「日の浦姫物語」<その3>「しみじみ日本・乃木大将」「小林一茶」「イーハトーボの劇列車」「国語事件殺人辞典」「仇討」「我輩は漱石である」「化粧」「もとの黙阿弥」「芭蕉通夜舟」「頭痛肩こり樋口一葉」<その四>「きらめく星座」「国語元年」「泣き虫なまいき石川啄木」「花よりタンゴ」「キネマの天地」「闇に咲く花」「雪やこんこん」<その五>「イヌの仇討」「決定版十一ぴきのネコ」「人間合格」「シャンハイムーン」「ある八重子物語」「中村岩五郎」「マンザナ、わが町」

### <作家のその他の著書>

**井上ひさしコレクション<全3巻>** 岩波書店 2005年発行

<人間の巻>直接に、または書物を通じて出会い、創作の源となってきた古今東西の人々を語る「ひと」、井上戯曲の重要な柱である、風刺もこめた「ウソ」、そして「愛」についての巻。笑いを追求する、ことばをめぐっての試行錯誤、天才的な役者・渥美清氏の思い出、70～80年代の短篇・戯曲などを収録。

<ことばの巻>この巻では、著者の仕事の核であり続けたテーマ、「ことば・本・演劇」についての文章をまとめる。「ら抜き」問題を考え、ことば遊びの効能を説き、本の読み方十箇条を紹介。さらに、演劇に関わりつづけるのはなぜかを語る。てんぷくトリオのコント台本など、貴重な資料も収録。

〈日本の巻〉最終巻は、「時代・戦争・コメ」という、社会に対する問題提起・発言をまとめる。憲法を考察し、「戦争」そして「戦後」について考え続けた軌跡を収録、この国のあるべき「かたち」とは何かを問う。また90年代前半、著者にとって大テーマであった「コメ」について論じた文章を一挙収録。

**演劇ノート エッセイの小路** 井上ひさし＝著／白水社 1997年発行

『日本人のへそ』以来30年、日本の演劇界をリードし続けてきた人気劇作家が、処女作から最新作まで各公演ごとに綴った作品の背景や意味、執筆意図などをまとめた演劇エッセイ集。

**井上ひさしの世界** 井上ひさし ほか＝著／白水社 1982年発行

**井上ひさしコント全集 てんぶくトリオのコント〈全3巻〉**

井上ひさし＝作／サンワイズ・エンタープライズ 1971～1975年発行

〈その他作家関連資料〉

**井上ひさし伝** 桐原良光＝著／白水社 2001年発行

現代の演劇・文学界で中心的な役割を果たす人気作家の半生を、当人はもとより数多くの関係者の証言を中心に、膨大な文献と資料を参照しながら構成し、その人間像に迫った初の評伝。

**井上ひさし用語用法辞典** 遠藤知子＝編著／集英社 1997年発行

ことば遣いの名手・井上ひさし。言葉、人生、社会、芸術への鋭い考察を含んだ文章は、小説、戯曲、対談など約180点の著作のあちこちに、笑ったり怒ったりして、ちりばめられている。316語のキーワードを50音順にならべ、その用語用法をみってみると…。『愛』から『悪口』まで、どこから読んでもおもしろくて、ためになる。

**現代演劇まるかじり** 森秀男＝著／晶文社 1983年発行

劇場から劇場へ、20年間にわたってさまざまな舞台に立ちあいつづけてきた著者が、「小劇場演劇」以後の18人の劇作家(井上ひさしを含む)の作品を、その上演に接しながらていねいに読みとく。

井上ひさしの関連資料は他にも多数ございます。詳しくはお問合せください。

### 公演記録映像

**紙屋町さくらホテル** (1997.11.9) 森光子 ほか

**紙屋町さくらホテル(再演)** (2001.4.13) 宮本信子 ほか